

# 地域密着型金融推進計画進捗状況報告

## 平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）

平成30年6月



## I. 基本方針

当金庫は、平成 28 年 1 月に改定した中長期経営計画“明日を築くチャレンジ 10 カ年計画”において、役職員一同が地域活性化のために、まず当金庫から「知恵をだし、汗を流す」行動を実践することを掲げ、引続き地域と地元の皆さまからより一層「役に立ち、認められ、選ばれる金融機関」となることを目指します。

上記を実現するため、地域密着型金融推進計画では、地元事業所の皆さまの事業の成長・再生による地域経済の活性化を目指し、金庫は、お客さまと対話を重ね、お客さまを知りぬき、お客さまが認識されていなかった強みや経営課題を明確にします。そのうえで必要な課題解決に取り組んでいきます。

また、取組みにおいては、双方が同じ目線、共通指標で対話ができる有効な支援ツールとして「ローカルベンチマーク」※を採用し、お客さまとの情報の共有化から課題解決支援へ繋げる伴走型の取組みを行うことを中核とします。

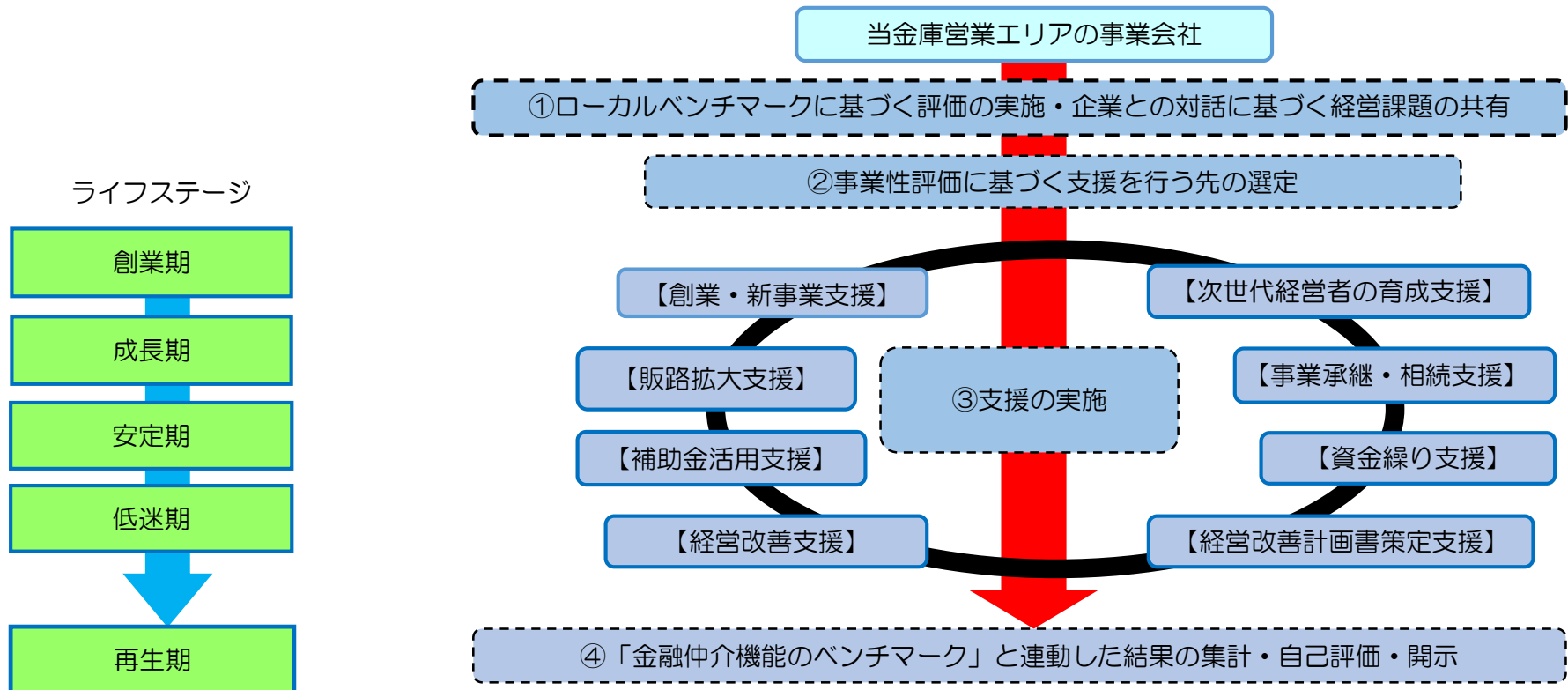
平成 29 年度も、地域と地元の皆さまからより一層「役に立ち、認められ、選ばれる金融機関」となることを目指し、ローカルベンチマークを活用した事業性評価に取り組めます。

### ※ローカルベンチマークとは

平成 28 年に経済産業省が公表した、財務情報に関する6つの指標と非財務情報に関する4つの視点から企業の「健康診断」を簡便に行うためのツールです。診断だけに留まらず、企業経営者と金融機関等支援機関が企業の状況を把握し双方が同じ目線で事業についての対話を深め、お互いに課題を認識し、行動に繋げるために「たたき台」として使用されることを前提に作成されたものです。

## Ⅱ. 当金庫の事業性評価に係る取組みの考え方

平成 28 年度に取組みを開始した「ローカルベンチマーク」に基づく評価を起点とし、課題解決支援・融資支援に取り組めます。



### Ⅲ. 事業性融資の具体的取組み（平成 29 年度）

#### 1. 事業性評価に係る取組み

##### （1）事業性評価に基づく取引先企業支援と融資推進

取組み項目	平成 29 年度実績
①取引先企業との経営課題の共有と優先課題の絞込み	<ul style="list-style-type: none"><li>ローカルベンチマークに基づく「事業性評価シート」で取引先企業のライフステージ・経営課題等を確認し、優先して取組む課題の絞込みを実施しております。</li><li>平成 30 年 3 月末時点のローカルベンチマークに基づく事業性評価シートの作成数（累計）は、198 先（うち今期作成：79 先）、そのうちローカルベンチマークに基づく対話により取引先企業と経営課題を共有した先は 176 先になりました。</li></ul>
②取引先企業の支援策の決定	<ul style="list-style-type: none"><li>上記①で絞込んだ優先課題に応じた取引先企業の支援策について、営業店・営業推進部・審査部による協議を行い、139 先の支援策を決定しました。</li></ul>
③取引先企業への課題解決支援の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>上記②で決定した取引先企業の経営課題の解決に向けた提案内容等に基づいた施策の実施に至った先は 49 先になりました。</li><li>平成 29 年度の主な支援実績は以下のとおりです。 海外進出企業の現地法人の資金繰り支援のためのスタンドバイ L C の発行（信金中央金庫と連携した取組み）、県内での販路拡大を目指す取引先企業を対象とした福田屋百貨店販路開拓商談会の開催（佐野商工会議所と共催）</li></ul>

##### （2）取引先企業の本業支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

取組み項目	平成 29 年度実績
① 創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"><li>創業・新事業支援に係る情報を収集し、外部機関と連携した支援に取り組んでおります。</li><li>平成 29 年度における創業・新事業支援に係る情報収集実績は 87 件、創業・新事業支援実績は 6 件になりました。</li><li>創業支援に係る人材育成に取り組むため、各種外部研修に職員を派遣するとともに、平成 29 年 6 月には日本政策金融公庫佐野支店と創業案件情報交換会を開催しました。</li></ul>

取組み項目	平成 29 年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成 29 年 7 月に佐野商工会議所・日本政策金融公庫が共催した「経営・金融なんでも相談会」に職員 2 名を相談員として派遣しました。（相談者数 16 名）</li> <li>• 平成 29 年 10 月から 11 月にかけて佐野商工会議所が主催した「創業&amp;融資相談会」に職員 6 名を相談員として派遣しました。（相談者数 31 名）</li> </ul>
②販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 販路拡大ニーズのある取引先企業に対し、各種商談会への出展を勧奨するとともに、出展後の状況についてフォローを行うことに取組んでおります。</li> <li>• 平成 29 年度は、県内及び北関東地区の金融機関等と連携し、以下の商談会等への出展支援を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ものづくり企業展示商談会（足利銀行主催）：7 社出展</li> <li>• しののめ信金フードビジネス商談会（しののめ信金主催）：2 社出展（内 1 社商談成約）</li> <li>• (株)福田屋百貨店販路開拓商談会（佐野商工会議所主催）：1 社出展</li> <li>• 新価値創造展(中小企業基盤整備機構主催)：1 社出展（商談成約）</li> <li>• アマゾンジャパンと連携したビジネスマッチング企画：1 社出展</li> </ul> </li> <li>• その他、販路拡大支援に係る取組みとして、当金庫営業店内の取引先企業同士の取引をマッチングさせる取組みを行いました。</li> </ul>
③補助金活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 補助金活用が有用と思われる取引先企業に対してもものづくり補助金及び小規模事業所持続化補助金等の活用提案に取組んでおります。</li> <li>• 補助金活用支援に係る人材育成に取組むため、平成 29 年 9 月に栃木県よろず支援拠点と連携した「中小企業向け補助金並びに助成金に関する勉強会」を開催しました。</li> </ul>
④次世代経営者の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お取引先の若手経営者及び後継者を対象とした「第 5 期さのしん経営塾」を平成 28 年 12 月に開講し、講義及び異業種交流会を継続開催しました。</li> <li>• 平成 29 年度末において、第 5 期さのしん経営塾は 6 回の講義を開催し、塾生企業のローカルベンチマークの共同作成を中心とした取組みを実施し終了いたしました。</li> </ul>
⑤事業承継・相続支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 後継者不在等の経営課題のある取引先企業に対して、事業承継支援の内容について提案するとともに、外部連携先と連携し、案件検討会等を開催し、事業承継案件に対応する取組みを実施しております。</li> <li>• 平成 29 年度は、栃木県事業引継支援センター及び栃木県よろず支援拠点と連携した事業承継支援を 9 先に実施しました。</li> <li>• 事業承継に係る人材育成に取組むため、平成 29 年 9 月に中小企業基盤整備機構と連携した「事業承継支援研修」を開催しました。</li> </ul>

取組み項目	平成 29 年度実績
⑥資金繰り支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資金繰り状況を把握し、正常運転資金の状況・業種特性等を考慮したうえで、資金繰り支援を随時実施しております。</li> <li>• 平成 29 年度は、資金繰り支援に対応するほか、短期継続融資に係る態勢整備を行い、「専用当座貸越 さのしんアシスト」の提供を開始しました。</li> </ul>
⑦経営改善計画書策定支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ライフステージ区分で低迷期及び再生期にある企業の経営改善計画書の策定支援に取り組んでおります。</li> <li>• 平成 29 年度は、栃木県信用保証協会、栃木県よろず支援拠点、中小企業再生支援協議会等と連携し、9先に対して経営改善計画書策定支援を行いました。</li> </ul>
⑧経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 低迷期、再生期にある取引先企業の経営改善支援、条件変更支援を行うことに取り組んでおり、平成 29 年度は、中小企業再生支援協議会等と連携し、9先に対して支援を実施しました。</li> </ul>